

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 光化学・バイオマス部会

第9回講演会

「太陽エネルギー利用技術と次世代農業」

人類は旧石器時代より太陽の恵である食料やバイオマス（材料・燃料）を効率よく収穫するために知恵を絞ってきた。近年、太陽エネルギーは光を熱だけでなく電気への変換や照射する光の波長の選択によって生産性の更なる向上をめざした農業技術が開発されつつある。本セミナーでは農業における最近の太陽エネルギー利用技術に焦点を当て、近未来の農業の在り方とともにそれに必要な技術について学び議論することを目的とする。講師には太陽光発電の農業利用や農業用照明に関わる研究者・技術者を招き太陽エネルギーを利用した最新の農業関連研究や実例を紹介いただく。

プログラム(講師敬称略)

- 13:00-13:05 開催挨拶 国立研究開発法人理化学研究所 田島右副
- 13:05~13:50 再生可能エネルギーと農業政策について
農林水産省・食料産業局バイオマス循環資源課再生可能エネルギー室 浅野真宏
- 13:50~14:35 太陽光を利用した植物工場の低コスト化
国立研究開発法人理化学研究所光量子制御技術開発チーム 小川貴代
- 14:35~15:20 有機薄膜太陽電池による農作物の収穫量向上技術に向けての検討
公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科 渡邊康之
- 15:20~15:30 休憩
- 15:30~16:15 太陽光エネルギーと循環型農業、ー 植物工場の意味 ー
信州大学繊維学部 先進植物工場研究教育センター 野末雅之
- 16:15~17:00 サツマイモの空中多層栽培法と芋メタン発電による太陽エネルギーの高効率利用
近畿大学生物理工学部 鈴木高広
- 17:00~17:15 閉会挨拶
- JSES 光化学・バイオマス部会長／国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 塙 藤徳

日 時：平成31年3月27日（水）13:00~17:15

会 場：東京理科大学森戸記念館第2フォーラム

主 催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会 光化学・バイオマス部会

協 賛：農業施設学会 東京理科大学総合研究院先進農業エネルギー理工学部門

公立諏訪東京理科大学 地域連携研究開発機構 農業理工学研究部門